



応募要領



ロボティクスシンポジウム第 30 回記念企画 Memoir of the Future ～未来の回顧録～ 「未来のノーベルロボット学賞の受賞者を募集します」

主催：日本ロボット学会（幹事学会）、日本機械学会、計測自動制御学会
実行：ロボティクスシンポジウム運営委員会
運営委員会委員長：田中孝之（北海道大学）
第 30 回記念企画委員長：田所諭（東北大学）
第 30 回ロボティクスシンポジウム実行委員長：前山祥一（香川大学）

1. 主旨

ロボティクスシンポジウムは 3 学会の主催で創設されてより、2025 年 3 月で第 30 回を迎えます。この学会がロボティクスや AI の発展に果たしてきた役割は極めて大きいと評価されています。

ロボティクスや AI の技術発展は著しく、30 年前にはとても不可能だったことが、現在は可能になってきました。ロボットやその発展技術の社会実装も進んで、自動運転、ドローン、AI など、世界を大きく変えつつあることは間違いありません。私たちは、その炎をさらに大きなマグマに育て、次の 30 年後に向けて、新たな未来を築いていきたいと考えています。

ロボティクスシンポジウム 30 周年として開催する本企画は、今から 30 年後の未来に実現するであろうロボティクスや社会の姿を、若手研究者に大胆に「夢」として予測していただくことを主旨とします。（未来予測）すなわち、その夢を、今から 30 年後の講演者が、本人がすでに実現した「過去の栄光」として、2025 年から 2055 年までの 30 年間を振り返る形で講演していただきます。（回顧録）

講演者は世界的な業績を上げ、30 年後に引退を迎えた、栄えあるノーベルロボット学賞を受賞した世界トップの研究者になりきり、第 30 回ロボティクスシンポジウム（松山）にて、記念講演を行っていただきます。そこでは、未来のロボティクスや AI の方向性、可能性、夢、空想、妄想を、あたかも過去の事実であるかのように、SF として、無責任に語っていただくことを期待します。

2. 募集要領

未来のノーベルロボット学賞受賞者として、上記主旨の記念講演を実施していただく若手のみなさんを募集します。

【対象者】応募時点で 40 歳以下の、第 30 回ロボティクスシンポジウム（松山）の参加者。

（※ 招待講演ですが、参加登録費を支払って参加していただきます。）

【講演】2025 年 3 月 18 日のロボティクスシンポジウム懇親会にて、パワーポイントを使用して、10 分の招待講演を実施。

【賞】優勝の他、招待講演者（受賞候補者）全員に対して、業績賞、功績賞、国際賞など、講演内容に合わせた賞を、主催学会から授与。招待講演者の数は 2～3 名。

【賞金】総額 10 億円

（※ただし、30 年後にはインフレにより通貨価値が 1/10,000 になるので、その時の価値に換算して支払う。つまり 10 万円）

【応募方法】パワーポイント 1 ページ程度で、記念講演の内容案を投稿していただく。記述様式は自由。言語は日本語。

【応募・問合せ先】tcpai@grp.tohoku.ac.jp（東北大学タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター内、未来の回顧録事務局）

【応募締切】2024 年 11 月 30 日。

賞金総額
10 億円!?

3. 審査要領

【第1次審査】（書面審査，2024年12月前半）

第1次審査では，提出された資料による書面審査により，審査委員会にて，招待講演者候補を選考します．

審査基準：1) もしかすると実現するかもしれないと思えるか．
2) その夢は人類社会の幸福に貢献するか．
3) 内容が飛躍していて夢とユーモアがあるか．
4) 多くの人の共感を集めそうか．

【第2次審査】（遠隔会議審査，2024年12月末ごろ）

第2次審査では，遠隔会議システムにより，招待講演者（受賞候補者）を選考します．そのため，本格的な準備が必要ない，数分程度の短いプレゼン，ご説明をお願いします．

審査基準：1) プレゼンが面白く，その夢が会場で魅力的に聞こえそうか．

【本審査】（受賞者の最終審査，2025年3月18日（火））

第30回ロボティクスシンポジウム会場の，道後温泉大和屋の，歴史ある能舞台上で，パワーポイントを使って，10分の招待講演を実施していただきます．発表言語は日本語で．

審査基準：審査員および参加者の投票により，受賞者を決定します．

【備考】

ウェブ配信，アーカイブ配信，メディア取材を予定しています．

第30回ロボティクスシンポジウムウェブページ：<http://www.robotics-symposia.org/30th/>

道後温泉大和屋本店（松山市道後湯之町20-8）：<https://www.yamatoyahonten.com/>

4. 提案テーマの例

未来の姿を予測し，ロボティクスにとどまらず，それを実現する科学技術はもとより，社会や経済の変革について，熱く語ってください．たとえば，下記のような問題を例としますが，これらよりはるかに魅力的な提案を期待します．

- ・ロボットによってSDGsの問題が解決される．（何の問題が？）
- ・全てのロボットが空を飛ぶようになる（社会も大きく変わる？）
- ・決まった形を持たないロボットが一般的になる．
- ・ロボティクスが，日本の未来を明るくする．（どのようにして？）
- ・日本のロボット人口が100億台を超える．
- ・ロボットの肉体機能について，シンギュラリティに到達する．
- ・困難な肉体労働は全てロボットが担当し，人間は頭脳労働だけを担当するようになる．
- ・難しい頭脳労働は全てロボットが担当し，人間は肉体労働だけを担当するようになる．
- ・人間とロボットとの婚姻入籍を認める法律，人間とロボット同権の法律が成立する．

